

登録コード	EKF23900	開講年度	2026				
授業科目	理科授業方法研究					担当教員	植原 俊晴 他
英文授業名	Science class method study					副担当	藤森 圭一
単位数	1	講義期間	前期(後半)	曜日・時限	木曜・2時限		履修学年
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】					【授業の達成目標】	
	2 6 E Aカリ、2 5 E Aカリ、2 4 E Aカリ						
	教育の専門職としての学識・技能					理科教育についての問題意識に対して、それを解決するための研究計画を立てることができる。	
	2 4 E Aカリ						
	教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点					理科教育に関わる研究計画を立てるために、様々な要因を考慮し検討することができる。	
	子どもの多様なニーズへの対応力					理科教育に対する子どものニーズを捉え、それを踏まえた研究計画を立てることができる。	
	協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力					理科教育に対する問題意識を他者と共有し、協働的に問題解決を図ろうとすることができる。	
	既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力					理科教育における先行研究を踏まえ、そこから新たな問いを見いだし解決しようとすることができる。	
	社会の一員である教員として生きる意志と倫理観					絶えず理科教育に関する問いを持ち解決しようとすることで、授業改善に努めることができる。	
(2)授業の概要	・ 演習方式で、理科教育の授業実践の方法・授業評価に関わる研究課題解決のための構想を立てるとともに、各自の研究課題について、先行研究や先行実践に位置付けながら授業実践に向けて理科教育の内容研究・教材開発・学習指導案構築および実践分析します。 ・ 担当教員が義務教育学校での実務経験をいかして授業を行います。						
(3)授業計画	第1回：理科教育学における授業方法に関わる先行研究の成果と課題 第2回：各自の理科教育の問題意識と関連する先行研究や先行実践の成果と課題 第3回：実践に向けた理科教育の内容研究・教材開発・指導案構築の検討 第4回：検討結果に基づく考察対象の焦点化と関連する先行研究の成果と課題 第5回：理科教育の授業実践に向けた研究課題の検討・精緻化 第6回：理科教育の授業実践の記録分析 第7回：成果のまとめと研究課題解決のための構想（レポート提出）						
(4)成績評価の方法	・ 各回の発表内容（40％）、質疑応答・議論の内容（20％）、およびレポート（40％）によって評価する。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 「秀」90％以上、「優」89-80％、「良」79-70％、「可」69-60％、「不可」60％未満						
(5)履修上の注意	・ 研究課題によっては、授業の内容や日程などを変更することがあります。 ・ 履修に当たっては、自らの研究課題を考慮し、指導教員と相談の上で決定してください。						
(6)質問、相談への対応および連絡先	【質問・相談の対応】 在室のときはいつでも。研究室は西校舎3階315室です。 【連絡先】 メール：t_uehara@shinshu-u.ac.jp 電 話：026-238-4118						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：(1)研究課題、(2)理論的枠組み、(3)授業内容と専門性、(4)研究の意義、のすべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表、討議、およびレポート構成が実現できた上で、(1)～(4)のうち3つ以上について発展的な発表、討議、およびレポートが実現できている。 「かなり上である」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表、討議、およびレポート構成が実現できた上で、(1)～(4)のうち2つについて発展的な発表、討議、およびレポートが実現できている。 「やや上にある」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表、討議、およびレポート構成が実現できた上で、(1)～(4)のうちいずれか1つについて発展的な発表、討議、およびレポートが実現できている。 「水準にある」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表、討議、およびレポート構成が実現できている。						
(8)事前事後学習の内容について	【事前学習】質疑応答・討論のための資料を準備してください。また、研究課題に関連した文献等を、図書館等で検索・収集し、研究課題の設定の仕方や研究方法論に着目して要約したり、吟味したりしてください。 【事後学習】質疑応答・討議を通じて生まれた課題について、事後に各自で調べて再検討してください。この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、30時間以上の時間外学習が必要となります。						
【教科書】	・ 特に指定しません。						
【参考書】	・ 随時、紹介します。						